

### 木簡画像データベース「木簡字典」の公開

奈良文化財研究所では二〇〇五年二月、木簡画像データベース「木簡字典」を公開した。これは木簡の文字の画像を一文字毎に検索でき、しかもさまざまな条件による絞り込みが可能な画期的なシステムである。画像もモノクロだけでなく、カラー、赤外線などさまざまなタイプの複数の画像が選択できる。また、木簡の文字を読んだ記録である記帳ノートも公開している。さらに、その画像の文字が書かれた木簡の基礎データを参照でき、どの木簡のどういう文脈で用いられた文字かがわかる。

現在、奈良文化財研究所が調査した木簡だけでなく、九州歴史資料館のご協力によって大宰府跡出土木簡も含め、約六〇〇字種、約六三〇〇文字分のデータを収録している。データの拡充（絶対量・時代・遺跡）、熟語（複数文字）検索、釈読支援システムの中での位置付けなど課題も多いが、木簡を読み、資料として活用していく上で不可欠の工具となることが期待される（なお、このデータベースは、二〇〇三―〇七年度〈予定〉日本学術振興会の科学研究費補助金基盤研究（S）「推論機能を有する木簡など出土文字資料の文字自動認識システムの開発」〈研究代表者渡辺晃宏〉の研究成果の一部である）。

URL: <http://www.nabunken.go.jp/database/>